

CADSUPER FX for Windows

バージョンアップ履歴

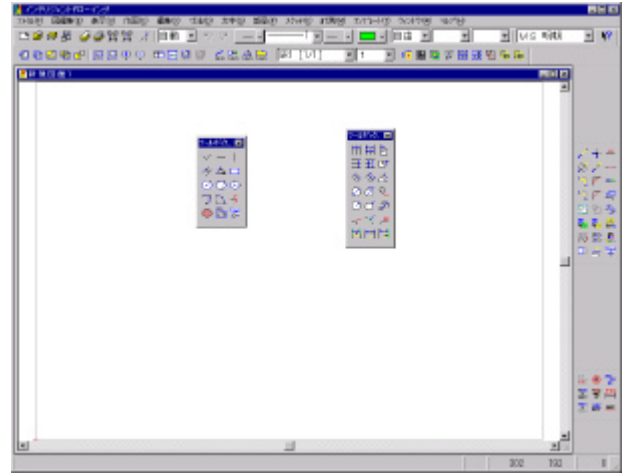
Ver.6.0 平成13年4月15日

SD (スーパー・インテリジェント・ドローイング)

ツールバー

フラットタイプのアイコンメニュー形式が使用できるようになり、スッキリとした感じになりました。

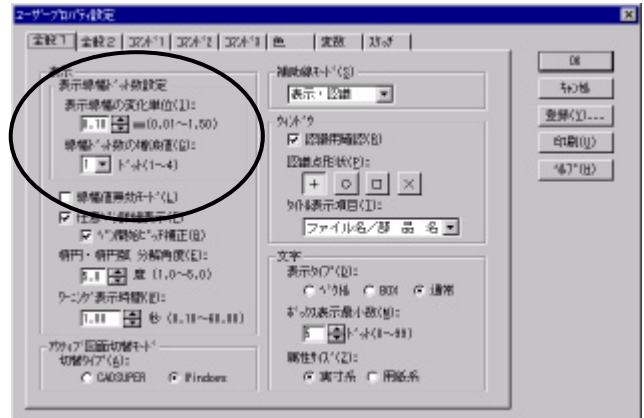
Ver.6.0よりデフォルトは、フラットメニューに設定され、設定の切替えは「テンプレート・ユーザー」の全般2で行います。



画面上の表示精度、貼り付けデータの印刷精度

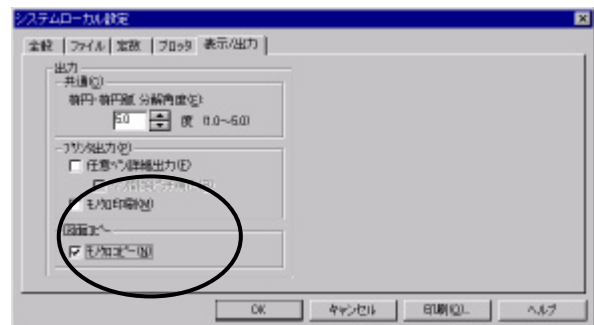
画面上で表現する線幅のピクセル数表現を実寸線幅値に割り当てできるようになりました。また、偶数ピクセル直での線幅表示も可能になっております。

これにより、従来0.49mm 迄を1ドット表示していたものが0.24mm 迄を1ドット、0.25~0.49mm を2ドットで表示することが出来ます。また、OLEにより他アプリケーションに貼り付けたFXオブジェクトの印刷精度が向上します。



図面のコピー

図面のコピーでOLE使用時、すべての要素をモノクロでコピーする機能を追加しました。



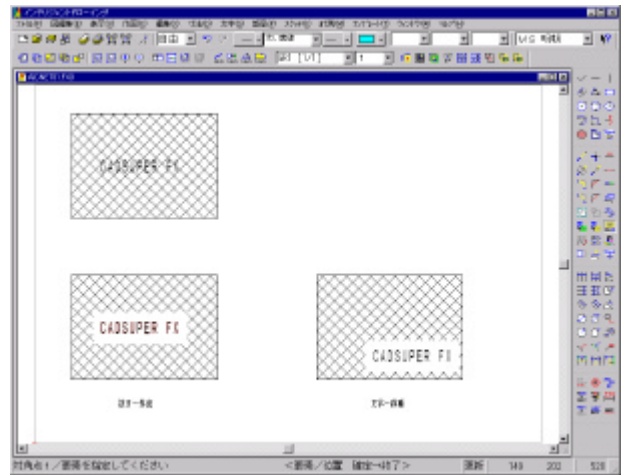
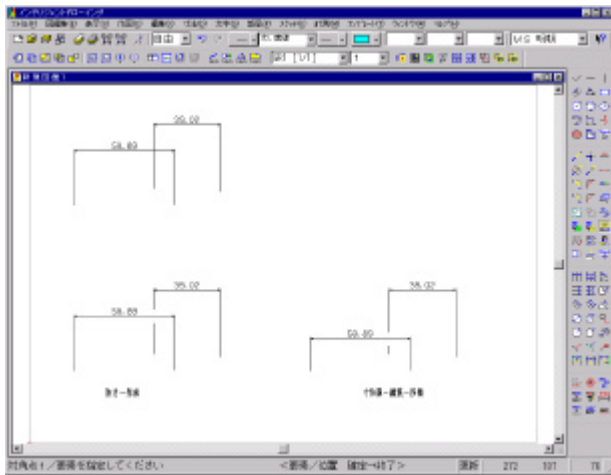
JX OLE1データ

他アプリケーションに貼り付けたJX OLE1データを、FX OLE2データに変換できるようになりました。他アプリケーションに貼り付けたJXオブジェクト上での右クリックから「変換」メニューを選択し、CADSUPER FXを指示する事によりFXのデータオブジェクトへ変換されます。

抜き機能

寸法線など他の要素と交錯する部分を、表面上中抜きするための専用機能を追加しました。本「抜き」機能を使用した要素を移動、削除など編集した場合は抜き形状が追従されます。

一部編集機能には、抜き情報がクリアされるものがあります。



Nurbs曲線

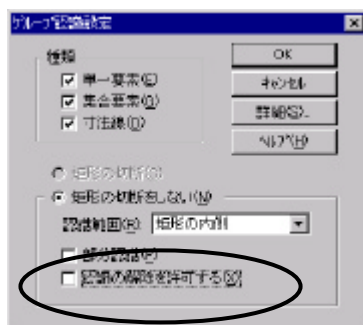
Nurbs曲線を円弧要素で接線近似する機能を追加しました。主に、Nurbs形状をCAMデータへ抽出する場合やNurbs要素データの軽量化に有効な機能です。

認識

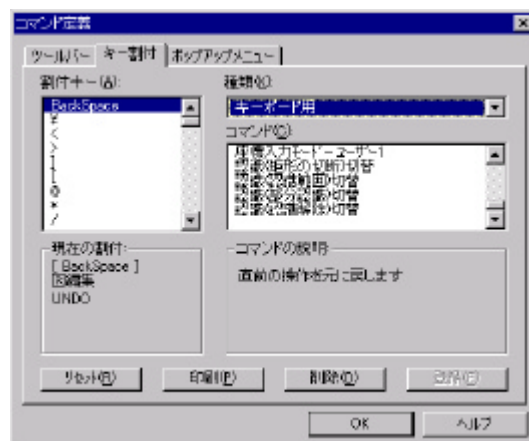
複数回のグループ認識により、重複認識した要素を認識状態のまま保持するモードを追加しました。

これに伴い、認識モードの各種設定切替をキーボードより割付けできるようにします。

グループ認識設定



キーボード切替えが可能になった設定



(矩形の切断、認識範囲、部分認識、認識解除)

変形

変形コマンドにおいて、多点グループ認識が可能となりました。

FXコンバータ

AutoCAD 2000フォーマットへのダイレクト変換機能を標準搭載しました。

BMフォーマットへのダイレクト変換機能を標準搭載しました。

機械要素

ローラチェーン

・平面図において、最初のピン(2本)の長さを下側に伸ばして描画するオプションを追加しました。

定型図

・長穴の基準位置を「中心」と「左」から選択できるようにしました。

プロコマンド

コーナーR変更

・円弧を追加する機能を追加しました。

角R処理

・入力した直径値で逃がし形状を作成する「直径指定」処理を追加しました。

円・点座標

・小数点の位置で桁をそろえて出力する機能を追加しました。

円座標

・タップ座標(をMで表示)に対応しました。

径引出し

・引出線を折り曲げない」オプションを追加しました。

公差

・公差を付ける時、左上のコマンドダイアログに選択した公差を表示するようにしました。

円拡縮

・対角点指定した円を処理後も選択したままにするモードを追加しました。

・円を処理する際に、処理内容を任意に変更できるようにしました。

ループグループ化<新規>

指定した周要素を集合要素にまとめる事ができます。

グループ追加<新規>

既存の集合要素やシンボルに、別の単純要素を追加できます。

外抜き2<新規>

指定した2本の基準線からはみ出していない要素も、基準線の間へ伸縮する事ができます。

四角形<新規>

・角丸めや面取りした矩形を描きます。矩形のサイズを複数登録しておくこともできます。

寸法桁数変更<新規>

・寸法値の小数点以下桁数を任意の桁に変更する事ができます。

点座標(任意)<新規>

指定した点要素や位置を任意の順番で一覧表に出力する事ができます。

半径寸法<新規>

・半径寸法を描きます。円弧の無い部分には自動的に「R」を付加できます。

倍寸法<新規>

・対称形で半分のみ描かれている図面に対して全幅の寸法を描く事ができます。

一括移動・複写<新規>

・異縮尺レイヤにある複数の要素を一括して移動、複写する事ができます。

パーツボックス

設定

- ・コマンドダイアログの「シート」欄に、従来のフルパスではなく名前を表示するように変更しました。

文字アプリケーション

記号

- ・記号ごとに文字の高さ、幅、間隔を設定する機能を追加しました。
- ・引出し時の線端を設定する機能を追加しました。
- ・バルーン(2重円、円、2段円、3段円)の配置基準点を「中上下左右」から選択する機能を追加しました。
- ・「文字を全て中に入れる」で配置した記号の文字列を編集しても「中に入っている」状態を維持する編集機能を追加しました。

文字列

- ・コマンドダイアログを「小さく」できるようにしました。
- ・コマンドダイアログの前回表示位置を記憶し、次回起動時、その位置にダイアログを表示するようにしました。
- ・任意のレイヤ縮尺に置換する特殊文字列「%_SCALEn%」を追加しました。
- ・図面上の複数行の文字列を取り込めるようにしました。
- ・図面上の特定の文字列だけを置換する機能を追加しました。

半角引出し

- ・引出し線の角度に「フリー」を追加しました。

文字属性変更 < 新規 >

- ・標準コマンドの「文字 - 変更 - 任意」と同じですが、「同じサイズの文字ごとに」属性を変更できます。

Ver.6.0 以降の動作保証 OS について

より有益な機能強化を少しでも多く高い品質にてご提供するために、Ver.6.0以降、Windows 95 (OSR2 含む)での動作保証を除外させて頂きました。

SmartFX Toolkit

SmartFX Toolkit

FX Solution Toolkit for SmartPDM

SmartPDMの特長である、Windowsアプリケーションとのシームレスな結合を最適な形で生かし、CADSUPER FXとのインテグレーションを実現する環境を構築するためのベースとなるのが、FX Solution Toolkit for SmartPDMです。

登録・検索・ライフサイクル管理・ビューイング・出力など、SmartPDMの主な機能への対応に加え、CADSUPER FXの特長である、外部参照部品機能とSmartPDMのライフサイクル機能を連携させる運用モデルもご提案致します。

PDMシステムの性質上、本製品をパッケージとして直接ご提供するのではなく、お客様の要求に合った最適なシステムをソリューションSEがご相談のうえ、DB設計、導入教育、実稼動までトータルでコンサルティング致します。